

【(一社)北九州緑化協会主催】

第14回『都市と自然の共生』シンポジウム

*講師プロフィール等

岩浅 有記 氏／大正大学 准教授

【略歴等】

2003年東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻修士課程修了、同年環境省入省。国土交通省出向時にグリーンインフラ政策を立案、グリーンインフラ研究会を主宰。

2015年閣議決定の国土形成計画、国土利用計画に初めてグリーンインフラを盛り込んだ。

2021年4月より現職。

自然を活用した地域創生に取組み、アドベンチャーツーリズムやサステナブルツーリズムに力を入れている。観光庁広域周遊観光促進専門家、佐渡市総合政策アドバイザー、北本市地域循環共生圏アドバイザー、東京外国語大学非常勤講師（環境政策）

原口 真 氏／MS&ADインターリスク総研株式会社 フェロー

【略歴等】

プラント・エンジニアリング企業勤務を経て、1996年から現職。

1997年から企業のサステナビリティ経営を支援する調査・分析、コンサルティングを展開。

自然資本を活用した地域のレジリエンス強化と地方創生SDGs推進の領域で、数多くのオープン・イノベーション・プロジェクトに携わっている。

全国からSDGs講演の要請があり、企業人を中心に5,000人を超える方にお伝えしている。

現在、

- ・環境省・次期生物多様性国家戦略研究会委員
- ・国土交通省・グリーンインフラ官民連携プラットフォーム企画・広報部会幹事
- ・北九州市・SDGs推進企業を対象とした登録制度の構築に係るアドバイザー
- ・東京都・生物多様性地域戦略改定検討会委員、等